



出雲小だより 12月号

令和5年11月30日
大田区立出雲小学校
校長 関 眞理子



①いつでも、どこでも、チャレンジする子
②ずっと、なかよし、やさしい子
③もりもり、わくわく、きたえる子

学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543



「脳」を鍛えよう!自分の言葉で考える力

校長 関 眞理子

2学期の行事「運動会」に大勢の皆様のご来校をいただき、ありがとうございました。近隣の小・中学校との調整等により、11月に実施いたしましたが、寒さを吹き飛ばす、子どもたちのエネルギーを感じる事ができました。子どもたちの一人一人の取り組んできた過程を含め、工夫してきたよさがたくさん見ることができたことも、ひとえに、保護者・地域の皆様の拍手や声援を受け、学びの過程での支えがあったからです。体育科の学習で、体いっぱいをつかって動かす喜びを味わい、表現を通して、観ている人に勇気と希望を与えられる笑顔を観ていただけたのではないのでしょうか。これから先、この学び合いを自信にかえて、さらに力を高めていくことと信じています。

残すところ、2学期も25日となりました。学習のまとめをしっかりとしていきます。引き続き健康・安全に気を付けて過ごすよう、御家庭での見守りと御支援をお願いいたします。

10月の読書月間を終えて、読書学習司書の福崎真由子先生より、本校の児童に一番読まれた本3冊を紹介してくださいました。第1位は、「すずめの戸締まり(新海誠・著)」と、「オリジナルストーリー逃走中(小川慧・著)」、第3位は、「絶滅動物最強王図鑑(監修・實吉達郎)」でした。昨年度より、貸出冊数が増え、本をよく読んでいる子どもたちでした。



紙の本が脳に与える「いい影響」を言語脳科学者の第一人者である酒井邦嘉氏は、「脳の想像力を十分に生かすためには、できるだけ少ない入力と豊富な出力を心がけるとよい。より分かりやすく言えば、読書と会話を楽しむことが一番である。これこそが、最も人間的な言語の使い方であり、創造的な能力を活用する最善の方法だといえよう」と述べています。さらに、「読書を通して、想像力を培うことができれば、言語能力も鍛えられる。すると、言語能力に裏打ちされた思考力が確かなものになる。これが、「脳を創る」ことである。」とも述べています。読書量が多ければ多いほど、言語能力も鍛えられていきます。私たち人間が、大切に譲れないものは何かを考え、未来にどのように向かうべきかを決断することが問われています。

11月24日に、6学年が「キッズドローンプロジェクト」を、TATA CONSULTANCY SERVICES JAPANの皆さんと一緒に、ドローンを活用して、グループで協働しながら、ミッションをクリアするために試行錯誤を繰り返して学び合いました。アルベルト・アイン・シュタインの「想像力は、知識より重要。世界を包み込む。」、トーマス・エジソンの「失敗は成功の母」ということを、子どもたち自身がドローン体験を通して感じ取ることができました。今後の学習では、「大田区の未来をよりよくしよう」をテーマに「脳」を鍛え、子どもたち自身の言葉で考え未来を提案していきます。思いや考えを大切にしながら、「未来」を創り出していきます。ぜひ、子どもたちのよさをたくさん見付け、たくさんほめ、それを自信にし、さらに、バージョンアップしていく子どもたちです。

家庭や地域でも、子どもたちのよさをほめ伸ばしてください。お願いいたします。



12月行事予定

※今後の感染状況により、変更になる場合があります。

日にち	曜日	内 容	
1	金	お話会(2・4) 伊豆移動教室事前健診(5) TOKYO 交通安全キャンペーン始	SC
2	土		
3	日		
4	月	全校朝会 生命尊重週間始 伊豆移動教室(5) 下校指導(1)	
5	火	伊豆移動教室(5)	SC
6	水	いじめ防止集会(1h)	
7	木	喫煙防止教室(6) 社会科見学(3) JAL のりのふるさと館 TOKYO 交通安全キャンペーン終	
8	金	お話会(1,3,5)	SC
9	土	生命尊重週間終 土曜日授業 土曜補習 CAST(5)	
10	日		
11	月	全校朝会 安全指導 キッズドローンプロジェクト(5・6)	
12	火	クラブ	SC
13	水	避難訓練(火災)/煙体験(3・5組)	
14	木	避難訓練・煙体験予備日	
15	金	縦割班活動 お話会(2・4(6))	SC
16	土	第12回大田区小学生駅伝大会	
17	日		
18	月	全校朝会 IZUMO SCIENCE SHOW 校外学習(5組)	
19	火		SC
20	水	音楽朝会 研究授業(6-1)	
21	木	縦割班引継会	
22	金	大掃除 お話会(1・3・5) 給食終	SC
23	土	お話会いずも	
24	日		
25	月	終業式	
26	火	※年末年始期間の12/29から1/3までの間は、学校敷地内外全体が機械警備となります。忘れ物や電話対応ができません。	
27	水	この期間以外に御連絡ください。	
28	木	※緊急の場合等は、大田区夜間・休日窓口へ連絡していただきますようお願いいたします。	
29	金	大田区夜間・休日窓口	
30	土	TEL 03-5744-1112	
31	日		

※避難訓練: 予告あり・火災(3年・5組: 煙体験)

※3学期始業式: 1/9(火) 通常通りの登校時刻

心を育てる「あ・い・う・え・お」

あ: あっ! そうか! い: いいこと言うね。
う: う〜ん、なるほどね。 え: え? どういうこと?
お: おっと、そういう考えもあったか!



12月 生活目標

～ 場に応じた話し方をしよう。 礼儀正しくしよう。～

使う言葉に気を付け、丁寧な気持ちをもって話そう。言葉・姿勢・視線を意識しよう

令和5年度 運動会への取組の様子を紹介します。

1 学年	<p>「魔法の合言葉～フィジァディバグラビボブラジポテト～」 小学校に入って初めての運動会でした。歌詞と曲に合わせて、みんなで踊りを覚え、「協力」をテーマに一生懸命に練習を重ねてきました。広い校庭での隊形移動も覚えました。当日は、クラスカラーの腕輪と団扇を持ち、元気いっぱい可愛く踊り切ることができました。参観された皆様方からの御声援が励みになりました。</p>	
2 学年	<p>「パワーオブスマイル～踊るように2年生を～」 2学年の表現では、全体目標として「笑顔・元気・2年生パワー」を掲げ、練習を重ねました。「もっと教えてください。」「早く踊りたい。」など、意欲的に練習をすすめ、本番を迎えました。本番では、カラフルな帽子を被り、自分たちで選んだ色のキラキラを腕に付けて踊りました。みんなで協力しながら、繰り返し練習した隊形移動も、見事に成功させていました。楽しく、充実した運動会でした。たくさんの御声援、ありがとうございました。</p>	
3 学年	<p>踊り切った「EZ mo Dance」(イーズモ ダンス) 「かっこよく」「力強く」「しなやかに」「リズムカルに」など、さまざまな要素がある動きで、子どもたちは、緊張しながらも全力で踊りました。運動会の練習を通して、ダンスの魅せ方だけでなく、体力、時間を守ってきびきびと行動する力、学年で一つのものを創り上げる喜びを味わうことができました。 運動会終了後に、「また、運動会やりたい。1か月に1回は、やりたい!」など、ロ々に語る子どもたちの様子からも、充実した運動会でした。温かい御声援、ありがとうございました。</p>	
4 学年	<p>「Starting over～笑顔で明日へ～」 4学年の表現は、「みんなで心をそろえて」という全体でも目標をもって、3部構成で行いました。「美しく」「そろえて」「自分らしく」「元気に」「笑顔で」など、それぞれの曲想に合わせた動き方に気を付けて、取り組みました。本番では、自分たちの全力を出し切り、楽しく踊ることができました。「みんなと協力できた。」や「踊っているうちに緊張がほぐれて生き生き踊れた。」など子どもたちにとって実りある運動会になりました。たくさんの御声援、ありがとうございました。</p>	
5 学年	<p>伝統「IZUMO ソーラン 2023」 5学年の全体目標として、「協力して心をひとつに」を掲げ、一丸となって練習を積み重ねました。本番では、全員が全力で表現している姿、真剣な表情が見られ、成長した様子が感じられたと思います。子どもたちが考案した海をイメージした動きも各クラスの個性を感じられました。運動会の期間を学年で一体感を保ちながら、目標に向かって過ごせたことは、子どもたちにとって尊い時間でもあり、成長できる時間でもあります。たくさんの御声援ありがとうございました。</p>	
6 学年	<p>「日本の魅力」 1学期から学年で話し合いを重ね、「日本の魅力」を伝えよう」と、運動会のテーマを決めました。それから、日本の自然や伝統文化など、さまざまな魅力を伝えるために、体全体を使って、動きを工夫してきました。またフラッグを使った表現では、これからの希望溢れる未来へ力強く羽ばたく様子を表現しました。大きく、力強く振ることや、フラッグの先まで一直線に伸ばすことで、力強く羽ばたいていく様子を表しました。6年間の集大成となる最後の運動会、たくさんの御声援、ありがとうございました。</p>	

【子どもの心サポート月間】

副校長 小林 正明

大田区教育委員会では毎年6・11月を【子どもの心サポート月間】(東京都教育委員会では、2月も含め、ふれあい月間を設定)とし、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校の早期発見・早期対応、未然防止等につながる取組の実施をしています。11月は子どもの心サポート月間でしたが、今年度の折り返しを過ぎた中で、子どもたちには友達との関係や学習のこと、家庭のことなど、様々な様子が顕著に現れてきます。子どもの心身の成長はものすごく早く、1年間の中でも大きく変化していきます。そのため、家族や友達との関係にも変化が表れるのは当然です。子どもは大人とは違います。子どもは大人のミニチュア版ではありません。大人よりも自然な存在であり、大人から見ても、子どもの思いや考えが分からないことや理解できないこともたくさんあります。そのため、理屈や説明だけではどうにもならないこともよくあります。だからこそ、丁寧なひと手間の工夫と調整等が必要です。本校でも、全児童アンケートの実施やいじめ防止に関する授業、3学年以上で実施した学級集団調査 WEB-QU についての教員研修などを通し、全教職員が一人一人の児童の様子をより丁寧に見取る取組を進め、日々の指導に生かしていきます。